※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　芸術科

教科	芸術音楽	科目	音楽基礎演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	バイエル等、各種エチュード						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、鍵盤楽器、管打楽器等の基礎的な奏法を身につけることを目的とします。
鍵盤楽器（ピアノ）の基礎的な奏法を身につけるとともに、管打楽器等の基礎的な奏法を身につけ、３年次の発展的内容につなげることをめざします。

２　学習の到達目標

・楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な基礎的な技能を身につける。
・音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持つことができるようにする。
・音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な基礎的な技能を身につけている	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している	音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	ピアノ	「ピアノの基礎的な奏法」 ・読譜の基礎 ・指番号 ・右手の運指 ・左手の運指 ・和音を伴って ・分散和音を伴って ・基礎的な楽曲	a:楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要なピアノの基礎的な技能を身につけている b:音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している c:音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる	実技試験	実技試験 聴取	観察
	管打楽器	「管打楽器等の基礎的な奏法」 ・管打楽器等の取り扱い ・奏法の基礎 ・エチュードを用いて ・基礎的な楽曲 ・アンサンブル	a:楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な管打楽器等の基礎的な技能を身につけている b:音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している c:音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる	実技試験	実技試験 聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度